平成25年度　Ｃブロック勉強会　アクションプラン

(薬局名)　　　　　　　　　　　　　　　　　　（氏名）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成26年2月12日（木）

◆個人で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

患者さんがお薬手帳の必要性を理解していないこと、薬局側の情報発信の仕方

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　が問題

◆班で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

　　　　　　　　　　　薬剤師側からのお薬手帳に対するアピールが足りないことが問題

◆アクションプラン

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |  |
| --- | --- |
| Ｃ５班 | 目標：お薬手帳も保険証と同じように毎回持参するという意識をもってもらう |

　　目標にいたる具体的な解決策

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| いつ（実施時期） | 明日から | 誰が（実施主体） | 薬剤師 |
| 誰に（働きかけ先） | 患者さんに、会社に |
| どのように（方法） | * 会社内で手帳の必要性、換羽やさんへのアピールの仕方について話し合い、

患者さんに実行する「持参」→「実際に使用」→「必要性を実感」して頂けるようにする●手帳カバー（保険証を一緒に保管できるもの）の購入を各薬局で会社側に訴える　会社側にも必要性を理解してもらう |
| 備考 | 以前から薬局においてもお薬手帳の持参率について悩んでいたのでディスカッションを通じ、今後やるべきことが明確になり、モチベーションも上がったと感想を頂きました。 |

 |

◆振り返り

以前から薬局においてもお薬手帳の持参率について悩んでいたのでディスカッションを通し、

今後やるべきことが明確になり、モチベーションも上がった。